

法学部専任教員 2015年度研究業績

秋池 宏美 教授

【現在の研究テーマ】

教育におけるパターンリズムの問題

井上 久士 教授

【現在の研究テーマ】

日中戦争時期の中国政治史、近代日中関係史

海老澤 豊 教授

【学術論文】

「アラン・ラムジューの牧歌」『駿河台大学論叢』第49号（2015）11-24頁

「十八世紀英国における牧歌風バラッド」『駿河台大学論叢』第50号（2015）

189-202頁

【現在の研究テーマ】

英国十八世紀の牧歌

王子田 誠 教授

【学術論文】

「金融商品取引法21条の2における発行者の主観的要件について」鳥山恭一／中村信男／高田晴仁 編『現代商事法の諸問題』岸田雅雄先生古稀記念論文集 111頁～128頁

【現在の研究テーマ】

発行者の不実開示責任など

大沼 洋一 教授

【学術論文】

「在外国民国民審査権確認請求事件東京地裁判決への疑問とその余白についての若干の考察」自治研究91(5), 114-130頁 (平成27年5月)

【現在の研究テーマ】

実質的当事者訴訟と無名抗告訴訟

小貫 幸浩 教授

【学術論文】

「大学自治・制度的保障論・客観的価値決定論—ドイツの場合」, 憲法理論研究会編・対話と憲法理論 (敬文堂, 2015. 10) 所収

「基本権が『保障するもの』は何か・続続続」駿河台法学29巻2号 (2016. 2)

【学会報告その他】

「ドイツの大学自治と制度的保障論」憲法理論研究会総会での報告 (2015. 5)

【現在の研究テーマ】

人権法理の比較研究

織田 博子 教授

【現在の研究テーマ】

法人規定の強行法規性, 在学契約における安全配慮義務

上河内 千香子 教授

【学界報告その他】

日本マンション学会 広島大会第5分科会「外国のマンション法と管理の実態—わが国のマンション居住を考える」(担当:「オーストリアにおける滅失した区分所有建物の取扱い」)(2015年4月)

【現在の研究テーマ】

非典型担保 建物区分所有法

菊田 秀雄 教授

【現在の研究テーマ】

EUの企業・市場法制の現代化の検討, イギリス法系の会社法の比較研究

北原 仁 教授

【現在の研究テーマ】

占領と憲法—日本国憲法の成立史

草地 未紀 准教授

【現在の研究テーマ】

高齢消費者被害救済のための公私協働型ネットワークの構築について

熊田 俊郎 教授

【現在の研究テーマ】

都市研究, 中国研究, 社会理論研究

倉島 安司 准教授

【現在の研究テーマ】

公法上の損失補償, 消防に関する法律問題

黒田 基樹 教授

【著書】

『増補改訂 戦国大名と外様国衆〈戎光祥研究叢書4〉』（戎光祥出版, 平成27年4月, 総頁640頁）

『長尾景伸〈中世武士選書26〉』（戎光祥出版, 平成27年4月, 総頁215頁）

『真田昌幸』（小学館, 平成27年11月, 総頁255頁）

『鉢形城と戦国武将』（寄居町教育委員会, 平成28年2月, 総頁67頁）

『「豊臣大名」真田一族』（洋泉社, 平成28年3月, 総頁255頁）

『真田信之 真田家を継いだ男の半生〈角川選書569〉』（KADOKAWA, 平成28年3月, 総頁234頁）

『上野岩松氏〈シリーズ・中世関東武士の研究15〉』（編書, 戎光祥出版, 平

成27年6月, 総頁415頁)

『北条氏房〈論集戦国大名と国衆19〉』(編書, 岩田書院, 平成27年11月, 総頁282頁)

【学術論文】

「山上上杉氏家宰の長尾定忠」(『日本歴史』805, 平成27年6月, 85-87頁)

「伊勢盛時と足利政知」(『戦国史研究』71, 平成28年2月, 21-22頁)

【現在の研究テーマ】

日本中近世移行期社会研究

竹内 健互 准教授

【現在の研究テーマ】

教唆犯論, 刑事事実認定論

千草 孝雄 教授

【学術論文】

「市支配人制の現状」駿河台法学第29巻第1号 2015年9月

「行政史に関する若干の考察(1)」駿河台法学第29巻第2号 2016年2月

「アメリカの地方自治研究に関する一考察」比較法文化22号 2016年3月

【現在の研究テーマ】

日本の地方自治

成田 憲彦 教授

【著書】

『政治を学ぶための基礎知識 論点日本の政治』(共著, 「第6章 立法」の各項目, 東京法令出版, 2015年9月)

【学会報告その他】

「18歳選挙権と18歳未満の選挙運動(巻頭言)」(『Voters』27号, 2015年8月)

「どうする政党交付金(耕論)」(『朝日新聞』2015年10月17日)

「民進党考」(WEBRONZA 2016年3月28日)

【現在の研究テーマ】

政治制度の研究，現代日本政治の動向分析

長谷川 裕寿 教授

【学術論文】

「加害者の責任とは何か―責任の人称性からのアプローチ」『修復的正義の諸相―細井洋子先生古稀祝賀記念論文集』（成文堂，2015/07）

【学会報告その他】

「応報の彼方へ：修復的正義・修復的实践の挑戦」（2015年度日本法哲学学会学術大会ワークショップB（2015/11）

「応報的正義と修復的正義」（第121回RJ研究会，2015/10）

【現在の研究テーマ】

応答責任と修復責任，刑法における情操，刑法における行為

半田 吉信 特任教授

【学術論文】

「イギリスの出訴期限法と2001年改正提案」千葉大学法学論集30巻1・2号（2015.8）11～113頁

「消滅時効法の転換と民法改正」駿河台法学29巻1号（2015.9）110～192頁

「新しい時効体系とドイツにおける学説，判例の展開(1)」駿河台法学29巻2号（2016.2）140～212頁

【現在の研究テーマ】

比較法的視点から見た日本民法（債権法）の改正，ヨーロッパにおける私法の平準化，ヨーロッパおよび日本における相続法の改正

朴 昌明 教授

【現在の研究テーマ】

韓国の労働経済，人的資源管理

福田 二郎 教授

【現在の研究テーマ】

英文学・ヨーロッパ思想史

松平 光徳 准教授

【現在の研究テーマ】

知的財産権の沿革と現代的課題, 著作権法の現代的課題: フェアユース法理

吉田 恒雄 教授

【著書】

『日本の児童虐待防止法的対応資料集成』(編著, 明石書店, 2015. 11)

【学術論文】

「未成年後見制度の現状と課題——研究者の視点から——」(日本司法書士連合会編『未成年後見の実務』(民事法研究会, 2015. 6))

【学会報告その他】

「(子どもの権利条約) 18, 20条, 34条」荒牧重人他編『新基本法コンメンタール 教育関係法』(日本評論社, 2015. 9)

「公私空間をつなぐ『間』の創生—児童虐待防止制度を例として—」科学技術振興機構シンポジウム(公/私空間・関係性の変容に応える安全な暮らしの創生—安全な社会システムの創生と伝承) 社会技術研究開発センター, 2015. 5

【現在の研究テーマ】

児童虐待に関する法学的研究, 子どもの権利擁護制度の研究

米山 哲夫 教授

【現在の研究テーマ】

少年非行と少年法・刑事政策の基礎理論